



このTシャツ、モンゴルでひらひらしたよ！

入野小学校4年生のみなさん（撮影：平成21年10月20日／関連記事：2ページ）

11月号の主な内容

- P. 2 特集「な砂浜美術館Tシャツアート展」
- P. 4 まちのできごと
- P. 6 教育委員会だより（佐賀中・入野小）
- P. 8 ねんきんコーナー
- P. 10 健康カレンダー
- P. 15 相談
- P. 16 募集
- P. 17 お知らせ

わがまちデータ

●人口	13,394人	前月比（10人減） 【男性6,309人 女性7,085人】
●世帯数	5,793世帯	
●15歳未満の年少人口	1,331人（比率9.9%） 【男性681人 女性650人】	
●65歳以上の高齢人口	4,566人（比率34.0%） 【男性1,798人 女性2,768人】	
●人口のうごき		
増加 23人	出生6人 転入15人 職権2人 【男2人 女4人】 【男8人 女7人】 【男2人】	
減少 33人	死亡12人 転出21人 【男6人 女6人】 【男11人 女10人】	

（2009（平成21）年9月30日現在）



発行/黒潮町役場

〒789-1992 高知県幡多郡黒潮町入野2019番地1 （2009（平成21）年11月1日発行 印刷/（有）宿毛印刷）
TEL 0880-43-2111（代表） FAX 0880-43-2788
HPアドレス <http://www.town.kuroshio.lg.jp/> somu@town.kuroshio.lg.jp



全国に広がるTシャツアート 世界初モンゴルでひら

5月ゴールデンウィークに黒潮町で行われるTシャツアート展（NPO砂浜美術館主催）は、全国から出展されたイラストや写真をプリントした1000枚を超えるTシャツを、まるで洗濯物を干すかのごとく、真っ白な砂浜にひらひらさせるイベント。今年で21回目を迎え、もはや全国的にも知れ渡り、そのひらひらの文化は、日本各地でも広がりを見せているようです。

そんな中、今年8月に、日本を越え、モンゴルでのTシャツアート展開催が実現されました。

きっかけは、イベントに県外からボランティアスタッフとして参加した、西村優美さんが「このすばらしい風景をモンゴルの草原で再現し、子どもたちに見せてあげたい。喜ばせてあげたい」という思いを持ったことからでした。

JICA（ジャイカ）青年海外協力隊としてモンゴルの子どもたちに絵を教えていた西村さんは、平成18年に開催したTシャツアート展にボランティアスタッフとして参加

していました。

「モンゴルの草原でTシャツアート展を開きたい」その思いは、町内での滞在期間中、そしてモンゴルでもたった一人で周囲に語り続けられました。そして、西村さん同様モンゴルで活動する青年海外協力隊のメンバーやモンゴル国内の仲間たちからの賛同・協力を得て、市の観光局にまで声を届けることができたのです。大草原での開催には至りませんでしたが、ウランバートル市街で、2日間のTシャツアート展を行うこととなりました。

モンゴルの子どもたちと 入野小学校4年生児童・ 大方高校生徒の交流

ウランバートル市街の広場でひらひらするTシャツは、地元国立孤児院の子どもたち45人とモンゴルの芸術家たちの作品に加え、町内入野小学校4年生児童23人、大方高校の生徒29人のイラストがプリントされた作品もありました。

西村さんは、この企画を立案した当初から「黒潮町とモンゴルの子どもたちとの交流が生まれたら…」と考えてい

ました。

さっそく、NPO砂浜美術館のスタッフとともに入野小学校へこの企画を提案したところ、急な話にも関わらず、学校もこの企画に賛同し、4年生の総合的な学習（国際理解教育）の授業の一環として、この取り組みに参加することとなったのです。

Tシャツにプリントするイラストの制作だけでなく、子どもたちへのささやかなプレゼントも手づくりされました。



入野小学校4年生児童が「プレゼントした、メッセージ付きおりと海の生き物のキーホルダーは、モンゴルの子どもたちにとても喜ばれていました。」

入野小学校4年生の子どもたち 「モンゴルの香りがする!」

開催後、9月29日、NPO 砂浜美術館職員の村上健太郎さんから、入野小学校4年生の児童たちへ報告がありました。

現地での様子をビデオ映像で見た子どもたちは、自分のTシャツが外国の街中で風にとよぎ、大勢の人たちに見てもらっていることに感動しているようでした。

自分の描いた絵がTシャツにプリントされた嬉しさを児童全員が満面の笑顔で見せていました。また、自分のもとに戻ってきたTシャツを手



し「モンゴルの香りがする!」とはしゃぐ児童もいました。モンゴルという国への興味が深まったようで、村上さんへの質問がたくさん出ていました。そして何よりも、みんなが一生懸命手作りしたプレゼントを手渡された孤児院の子どもたちの喜ぶ姿に、本当にとても嬉しそうな表情で見入っていました。

モンゴルの草原でひらひら

今回モンゴルでのTシャツアート展を実現させた西村さんとNPO 砂浜美術館の夢はさらに続きます。

来年こそは、モンゴルに大きく広がる緑色の草原での、Tシャツアート展開催です。

入野小学校でも「緑色の草原でのTシャツアート展を見てみたい」と期待の声も上がっています。

NPO 砂浜美術館の村上さんは「黒潮町にある4キロも続く砂浜も珍しいけれど、モンゴルにあるような大きく広がる草原も日本にはありません。言葉も文化も違う場所で、Tシャツアート展ができること、砂浜美術館という考え方（価値観）を共に知りあえる

ことはとても貴重なことだと思っています。これから、モンゴルと黒潮町の子どもたちの交流を広めていけるように、まずはモンゴルの草原でのTシャツアート展の実現を目指したい。ひらひらの文化を広めていきたい」と話してくれました。



来年はこのモンゴルの大草原でTシャツアート展をぜひ開催してみせます!
(中央が西村優美さん)

砂浜美術館構想 「私たちの町には美術館がありません 美しい砂浜が美術館です」

「私たちの町には美術館がありません、美しい砂浜が美術館です」をコンセプトに、私たちの町では、入野松原をバックに広がる真っ白な砂浜

を美術館と見立て、そこに存在する自然や生きもののそのものすべてが、貴重な作品であるという価値観を全国に発信しています。

この概念を分かりやすく心で感じてもらうと、砂浜美術館では、今年5月で21年目を迎えた「Tシャツアート展」、「はだしマラソン全国大会」、「砂像彫刻」、夏のお祭り「シーサイドギャラリー夏」、今年11月6日から始まる(8日まで)「潮風のキルト展」、「らっきょうの花見」など、年間を通じてさまざまなイベントが実施されています。

現在、イベント活動を中心となつて運営しているのが、NPO 砂浜美術館です。

今から21年前、旧大町役場の職員や地域の有志、そして早くから町の自然に魅了され活動に加わった町外の方々、そんな仲間たちがともに、町の美しい自然を全国へ発信するための「砂浜美術館構想」を生み出しました。

その活動が、末永く継続され、後の観光事業にも結びつけられるよう、主体がNPO 法人化され今にいたります。

高知大学と連携事業について調印式を行いました

10月6日、高知大学朝倉キャンパスで、国立大学法人高知大学と黒潮町が、連携して事業を実施するための協定書について、調印式を行いました。

この協定は、高知大学と黒潮町が、それぞれ持っている知識や経験を共有し、お互いが連携して、具体的かつ実践的な活動と事業の推進を図ることを目的に締結され、双方からメンバーを出し合い、連携協議会（仮称）を発足することが確認されました。

高知大学は現在、地域にある国立大学ということで、地域に根ざした教育や実践活動および情報発信を行うとともに、地域を担う人材の育成と確保といったことに力を入れており、黒潮町においては、「地域雇用創造推進事業」・「地域雇用創造実現事業」などの雇用促進や、「カツオ産業・文化のまちづくり事業」・「黒潮印の商品開発」などの産業振興といった分野を中心に、町の計画や施策など多岐にわたり連携していき、町の発展につながることを期待されます。

調印式では国立大学法人高知大学学長の相良祐輔氏より

「地方にある大学は、中央にある大学との役割分担が近年変わってきた。地域との連携を強化することで、地域資源の掘り起こしと、付加価値を高めることにつながれば」とのあいさつをいただき、それに応じて下村町長は「わが町の振興計画は職員が考えて作成し、それを誇りに思い実践してきたが、地方の疲弊は現在、ピークに達しつつある。大学の持つ持っている知識や人材をフルに活用し、お力をお与えいただきたい」とのあいさつしました。



左が国立大学法人高知大学学長の相良祐輔氏

よりよいホエールウォッチングを目指して「WW会議」

9月30日、ふるさと総合センターで土佐湾ホエールウォッチング会議が行われました。当日は町内外からホエールウォッチング事業所やクジラを専門とする関係者らが集結。午前中はホエールウォッチング、また午後からは各地での活動紹介や今後の事業展開についての提案などが話し合われました。黒潮町では県内でも数多くの遊漁船を有し、同会議の主催者でもあるNPO砂浜美術館が予約受付、漁業と並行して遊漁船を営む漁師との調整を行っています。



会議には大方高校の生徒も参加、町内で近年目立ち始めたホエールウォッチングの乗船者減少の解消に貢献していきたいと話してくれました。

土佐さがカツオのタタキ 岡山蒜山高原で大好評！

9月27日、岡山県真庭市の蒜山高原で行われた「海の市・山の市2009真庭」に黒潮町から漁協佐賀統括支所の青年部・女性部と関係者一同がカツオのわら焼きタタキとイヨ（魚飯）を出店してきました。真庭市や沿線市町村から約100店もの特産品ブースが立ち並ぶ会場で、高知県から黒潮町、土佐市、須崎市がカツオのわら焼きを上演。販売開始前から予約のお客さんで長蛇の列となり、わずか2時間足らずで200本分のタタキが完売という盛況振りでした。



本場の漁師のカツオさばきに、お客さんの目は釘づけ！黒潮町商工会が開発中のカツオの竜田揚げも、試食したお客さんから「おいしい！」「どこで買えるの？」と、大変好感を得ていました！

「馬荷の七立栗」今季最後の出荷作業

かきせ川地域では、弘法大師が残したといわれる馬荷の七立栗の保存活動が七立栗保存会を中心に行われています。

9月26日には、今期最終の出荷を迎えました。JA高知はた南部事業所の西さんによると、平成20年から本格的な出荷を始めた七立栗は、枝栗として主に県外に出荷されており、花と同じく生け花やアレンジなどで使用されているとのことです。

出荷2年目を迎え、農協や農業普及センターの方々の指導のおかげで、少しずつ品質の良い枝栗ができるようになり、まだまだ課題はあるものの、嬉しいことに需要も増えているようです。



作業を行う堀川寛さん。「栽培や出荷には力仕事も少なく高齢になってもできます。これからは生産活動をいっしょにする仲間づくりに力を入れたい」と話してくれました。



右:めったにできない石臼ひきは、みんなで交代に体験。「楽しい!」「懐かしい!」と喜ぶ声が響きます。左:新釜での煮出し。

佐賀北部地域協議会かわうそ部会が鈴地区で昔ながらの豆腐づくり体験をお試し

佐賀北部地域(中ノ川・小黒ノ川・川奥・荷箱・拳ノ川・佐賀橋川・市野瀬・鈴の8地域)では、地域の活性化を図るため、地域の有志らが佐賀北部地域協議会を立ち上げ、若山楮の復活、ゆずなどの農作物の栽培、新商品としての卯の花モチの開発などの活動を行っています。

10月11日、鈴地区の漁港周辺で、同協議会「かわうそ部会」のメンバーと地域住民が、

町内外の方々を対象とした自然体験メニューづくりをと、地域でかつて豆腐屋を営んでいた広田万子さんに教わりながら、昔ながらの手づくりの豆腐づくりを試みました。

水は井戸から汲みあげ、大豆は国産、にがりは町内で海水から作られた自然のものを使用、一晩水に浸した大豆を石臼でひき、薪釜で煮だてると、当時の手法に加えて材料にもこだわった豆腐を手づくりしました。

「石臼をひくこと、井戸から水を汲みあげることもええ体験になるね」「材料がえいき味が全然違う」「一人用の型枠があつたらえいね」参加者からはアイデアが次々と。

鈴地区の地元住民でもあり、かわうそ部会の青山茂子さんと広田さんは「自分たちが小さい頃に鈴で売られていた昔ながらの手づくり豆腐を、地域内外の人達に体験させてあげたい。数は限られるが販売にもつなげていけたらと思います。」「今日は本当に楽しかった。希望があれば学校に出向いて教えに行きたい。」と話してくれました。

鈴地区の港の風景



佐賀北部地域協議会の豆腐づくりが行われていた鈴漁港では、ポカポカと陽の射す青空の下、約10人の漁師たちが一丸となって10月下旬から始まる大敷漁の準備を行っていました。大敷漁は、台風などで海が荒れる6月～9月までは、海中にイカリだけを残り、広げた浮きや網などをすべて陸に引き上げるため、毎年こうして準備が行われます。

その付近では、イセエビ漁で裂けた網を馴れた手つきで修復する漁師やその家族の方々。忙しい中でも、地域内外に関わらず声を掛け合い、温かく人を迎える場面も見かけます。

地域にとっちはいつもの風景、減多に來ることのない者にとっちは、なんとも言えない魅力とあたたかい気持ちを感ぜられる場所です。

らっきょうの花、知ってますか。



地元の農家が栽培している「らっきょう」、黒潮町の特産物のひとつです。毎年9～10月頃に植え付けが行われ、4月にはいっせいに収穫・出荷が始まります。

普段は食べ物としての印象が強い「らっきょう」ですが、11月には紫色のかわいらしい花を咲かせます。中には、白色をしたものもあります。入野松原周辺では、まるで紫の絨毯が敷きつめたようならっきょうのお花畑が一面に広がっています。

砂浜美術館のイベント「らっきょうの花見」が今年で10周年を迎えました。

らっきょうの花見 10/27～11/23【期間中の催し】

- 俳句と絵手紙を募集しています。テーマ「砂浜の秋」
- クイズラリー 11/21(土)、22(日)、23(祝日)
周辺7カ所に点在するクイズ。全問正解の方には「黒潮町産らっきょう漬け」プレゼント
- きむらとしろうじん野点 11/21(土)
ご自分で絵付けした楽焼茶碗で、お茶を楽しめる移動式カフェ
- らっきょうの花のしおりづくり 11月22(日)
お花見の記憶に彩りを添える一品を作ませんか?
- らっきょうの花入り和紙で掛け軸づくり 11/23(祝)

お問い合わせ
NPO砂浜美術館
☎43-4915
<http://www.sunabi.com/>

教育委員会

だより

佐賀中学校

「自分・仲間・未来」

生き方につながる豊かな
学力の保障

校長 井上 一美

はじめに

本校では、教育目標を『人間を大事に』とし、人権「同和」教育を根底に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にしてきました。その人権尊重の精神は、日々の授業や部活動だけでなく、行事においても大切なこととして取り組んできました。

「自分」―基礎学力の定着と充実

「仲間」―仲間づくり

「未来」―校内研修の充実

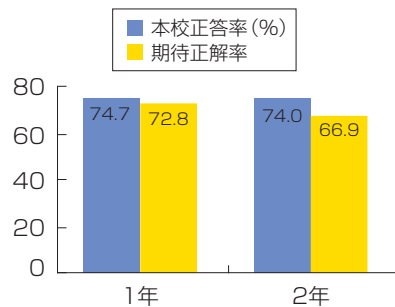
を本年度の研究テーマとし、教育実践を推進しています。

基礎学力の定着と充実

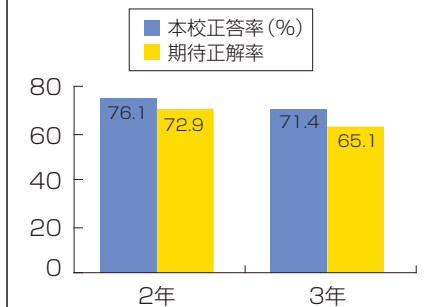
水曜以外の放課後に15分間行われる基礎タイム（KT）は国語、数学、英語の基礎知識の学習タイムです。その学

習成果は、学期に一回チェックテストで評価され、その後の取り組みに役立てています。5月に行われた標準学力調査でも、期待正答値より高い数値を示し、わずかでも成果につながっています。

標準学力調査 国語



標準学力調査 英語



仲間づくり

本年度も「Best And Nice Zone AI」をテーマに『佐中



リサイクルショップでは、地域のたくさんの方々からご協力をいただいたおかげで、当日は大盛況でした。

祭』が行われました。これまでの先輩たちが大切にしてきたこと―まごころと地域、世界、佐中の仲間とつながること―を改めて問い直し、実行委員会を中心に2カ月間さまざまな課題を検討、計画してきました。

当日はあいにくの雨、しかも生徒の店舗10店、主旨に賛同してくださった方々の店舗が14店と例年より全体としては少々減ったにもかかわらず多くの皆さんに来ていただきました。また当日だけでなく、生徒の店舗の売り物にしてくださいと「皿鉢」の大きなお皿3枚を手押し車にのせて届けてくださった地域のおばあちゃんや、ウナギ取り名人のご協力など、地域の方に支えられての佐中祭を実感したことでした。



足いっぱい夢では「イチ！ニッ！イチ！ニッ！」クラスみんなで声を出し、心をひとつに1番を目指します。

抜けるような青空と全員参加で行われた『運動会』は、夏休み中の準備不足にもかかわらず力一杯できました。例年行われる「長縄とび」「足いっぱい夢」の学級対抗競技では、それぞれの学級が知恵を絞り合って練習していました。

本年度入学した1年生では『仲間づくりプロジェクト』として、4月には県立幡多青少年の家での集団活動、メーラルカウンセリング、「はじめ」についての授業、「めざせ！聞き方名人」、先生と個人的に話してみよう、「つながる」ことの喜びについてなどの活動を、年間を通じて行い、「中一ギャップ」と呼ばれる不登



校や学力の低下をなくする取り組みを行っています。

校内研修の充実

「基礎学力の定着と充実」「仲間づくり」を推進するための校内研修では、授業改善や家庭学習の充実、生徒が主体的に活動・表現できる場の設定や生徒会活動の推進、「人権・部落問題学習」の確立を進めています。

また、「話す」「聞く」力を育てるために教職員が外部講師の方々から、「かわり」やソーシャルスキルについての研修を受けながら、「関わり合いのある授業」の授業研究や「認め合う仲間づくり」を行っています。

入野小学校

「豊でたくましく、自ら考え行動できる子どもの育成」を目指して

校長 山本 岩見

はじめに

平成21年度の入野小学校は、1年生32人、2年生28人、3年生28人、4年生22人、5年生30人、6年生30人。全校児童数は、男子90人、女子85人の計170人です。学級数は、1年生は30人学級指定で2学級に、そして特別支援学級が3学級で、合計10学級です。(10月1日現在)

文部科学省指定 小学校外国語活動推進事業

今年度と来年度の2年間の指定で「外国語（英語）活動」の研究を進めています。

毎週金曜日を授業日に定め、ALTや西部教育事務所の指導主事を招聘して研究を進めています。5月には、松山大学の金森強教授を招いて5・6年生の公開授業と講演会を実施しました。町内外の先生方にもたくさん参加していただき、今後の外国語活動のあ

り方について共に研究を行いました。

12月にも、中間発表として、5・6年生の公開授業と松山大学の金森教授の講演会を実施する予定です。



校内研修の充実

『かわり合い・学び合う子ども』を育てる
「聴き合い・伝え合い・学び合い 思いを表現できる授業の創造」

今年度は、右記のテーマで研究を進めています。授業はももろんのこと、教育活動全般を通してこの取り組みを行います。春のなかよしデイでは、「入野小学校砂浜美術館」としてな



は、「入野小学校砂浜美術館」としてな
かよし班で、
砂像作りに挑
戦しました。

この班では、「ウミガメ」作りに挑戦し、いろいろなアイデアを出し合って完成しました。

授業では、子ども同士での教え合い学習を進めています。友だちからアドバイスして



【学びの教室の紹介】



本校では、チャレンジタイムを利用して、自学自習の取り組みを進めています。

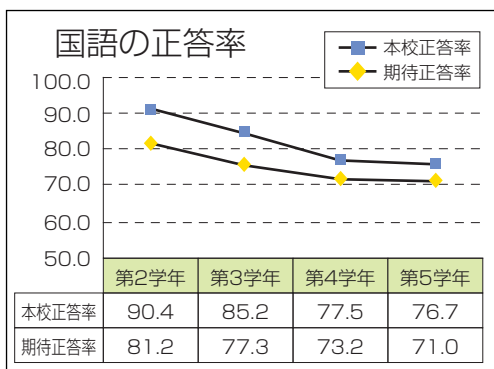
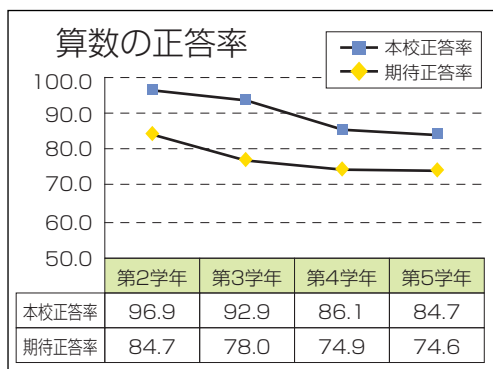
自分のペースで進めていく学習なので、子どもたちは意欲的に取り組んでいます。

【読書タイム】

今年度は、掃除の後の10分間を読書タイムとして取り組みを進めています。年度当初に各学年の必読書を設定し、読み切ることを目標に進めています。また、毎週水曜日は、読み聞かせのボランティアの方が訪問してくれていま

す。子どもたちは、水曜日を楽しみにしています。

標準学力調査の結果より



今年度の標準学力調査の結果も、全学年期待正答率を上回った結果となっています。

しかし、細かく分析を進めると、国語科において「聞く・書く」「読む」点において少し弱さがあることがわかりましたので、次のような取り組みを進めています。

◆授業の工夫改善

- 研究授業（国語力を高める授業のあり方の研究）
- 関わり合う学習方法
- 書く機会の充実（教科日記・道徳日記など）

◆読解力を高める取り組み

- 授業評価表の活用
- 音読の日常化と全校音読発表会

- 読書の習慣化（読書タイム・読み聞かせ・必読書）

- 確かな読解力をつける国語プリント集の活用

- ◆校時表の工夫とT・T体制による個に応じた指導の実施
- くろしおタイム・学びの教室の活用

◆家庭学習の充実

- 宿題の工夫
- 自学自習ノートの取り組み
- 単元テストの活用

◆校長チャレンジ検定

以上、本校の取り組みの一部を紹介しました。

ねんきんコーナー

11月は「ねんきん月間」です

社会保険庁では毎年11月6日～12日を「年金週間」と定め、皆さんに年金制度について正しく理解していただけるよう広報を行っています。

「ねんきん月間」は、国民の一人ひとりが、年金を身近で大切なものとして考え、公的年金制度の意義や役割を正しく認識し、年金行政についての理解と信頼を深めていただくことにより、一人ひとりに年金制度への参画意識を持つていただくことを目的としています。

年金加入記録の提供や年金相談などのサービス提供の充実を図るとともに、国民の年金権を確保するために公的年金制度の加入意義や保険料の納付義務について理解を求め、国民年金保険料の収納対策を推進するものです。

公的年金制度は「世代と世代の支えあい」で成り立っています。

本人の納めた保険料分だけ

では、とても現在の受給者の年金額をまかないきれません。（高知県の現在の国民年金受給権者数は約21万人、年金額は約1300億円）

年金は、現役世代の納める保険料が今の高齢者を支え、いずれは現役世代も今の子どもたちの世代に支えてもらうことになります。

この機会に、年金を身近で大切なものとして、見直してみませんか。

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書が 発行されます

国民年金保険料は、税の申告において納めた全額が社会保険料控除の対象となりますが、年末調整や確定申告で国民年金保険料を申告する際には、保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要です。

そのため、国民年金保険料を納付された皆さんに、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」をお送りします。この年末調整や確定申告を行う時まで大切に保管してください。

なお、世帯主がその扶養家族の国民年金保険料を納付した場合などは、納付した方が申告することができます。

お届け時期は、平成21年1月から9月末日までに納付された方は、今年11月上旬、10月1日から12月末日までに今年初めて納付された方は来年2月上旬となっています。

※証明書および領収証書を紛失された場合は、高知社会保険事務局幡多事務所までご相談ください。

老齢年金受給者のみなさんへ： 扶養親族等申告書の提出をお忘れなく

老齢または退職を支給事由とする老齢年金は、所得税法により「雑所得」として所得税がかかりますが、この所得税を計算する際の各種控除を受けるために対象となる年金受給者に対しては、毎年10月下旬に「扶養親族等申告書」が社会保険業務センター（および厚生年金基金・各共済組合）から送付されてきます。

この申告書を12月初旬の提出期限までに提出すると、翌

年に支払われる年金から、公的年金控除、配偶者控除などの各種控除が適用された上で源泉徴収が行われます。

ただし、年金以外に収入がある場合は、確定申告が必要です。

なお、年金額が108万円（65歳以上の方は158万円）未満の方には、非課税のため送られません。

○お問い合わせ

大方総合支所

住民課 住基戸籍係

☎ 43-2800（直通）

佐賀総合支所

総務課 住基戸籍係

☎ 55-3701（直通）

高知社会保険事務局

幡多事務所

☎ 34-1616



法務局からのお知らせ 供託の新しい制度 ～オンライン申請・電子納付～

法務局で取り扱っております供託（地代・家賃弁済供託など）手続きにつきましては、郵送による申請や自宅や事務所のパソコンを利用したインターネットによるオンライン申請が可能です。

また、供託金の納付の方法も、インターネットバンキングやペイジーマークのあるATMを利用しての納付（電子納付）が可能となるなど、より利用しやすい制度となっております。

供託手続、オンライン申請などについての詳しいことは、法務省ホームページ（<http://www.moj.go.jp/>）、または高知地方法務局供託課（☎088-822-3458）へお問い合わせください。

そう ほう 鞭分団操法大会で5位入賞! ～平成21年度 高知県消防操法大会～



鞭分団の皆さん

10月4日(日)、いの町の高知県消防学校で、雲ひとつない青天の下、平成21年度高知県消防操法大会が開催されました。

本大会は、県下各消防団員の消火活動の技術向上を目指して毎年実施されています。

県内各地から、ポンプ車操法・小型ポンプ操法各18チームが参加し、黒潮町消防団からは鞭分団が小型ポンプ操法に出場しました。

団員の皆さんは、7月から週に2回以上の練習を重ね、昼間の仕事の疲れの残る夜間、それぞれの役目を完全に自分の体にたたき込み、大会に臨みました。

耐震診断を受けてみませんか? 残り15枠

～木造住宅耐震診断士派遣事業のご案内～

6月から受付を開始している耐震診断士派遣事業の申込枠が現在15枠残っています。この機会に耐震診断を受けてみませんか?

【対象となる住宅】

- 1981(昭和56)年5月31日以前に着工された住宅で、階数が3階以下、在来軸組木造構法・伝統構法で建てられたものとなっています。また、賃貸住宅は、耐震診断について借主の同意を得てください。

※プレハブ、ツーバイフォー、丸太組工法(ログハウス)などの住宅は対象外です。その他、申し込みに関しての詳しいお問い合わせは下記の連絡先をお願いします。

お問い合わせ

【本 庁】総務課 消防防災係 ☎43-2112(直通)
 【佐賀総合支所】総務課 総務係 ☎55-3111(直通)

鞭分団の出番は1番目。開会式のすぐ後ということもあり、準備が手間取るといふハプニングもありましたが、操作員のみなさんの集中が途切れることはありませんでした。

プレッシャーを跳ねのけ、7月から3カ月間練習を重ねてきた成果を十二分に発揮し、タイム45秒77、得点78・0点の好成績を叩き出しました。

全国でもトップレベルにある高知県の他のチームの競技が進む中、鞭分団の成績は上位に残り続け、見事5位入賞、敢闘賞を獲得了ました。

黒潮町消防団を代表して5位入賞の快挙を成し遂げた選手皆さん、また、選手を支えた鞭分団の皆さん、関係者の方々、長期間の練習と本番での活躍、本当に疲れさまでした。

大方地域

※広報10月号でお知らせした11月13日(金)肺がん検診(未受診者対象)の日程中、保健福祉センター(10:50～11:10実施)は、都合により、芝(旧中央保育所)に場所が変更になりました。ご了承ください。

11月 日(曜日)	内 容	実施場所	実施時間
18日(水)	乳 がん 検 診 (未受診者対象)	大方あかつき館	※9:00～11:00 ※13:30～15:00
19日(木)	健 康 相 談	浮津集会所	9:30～10:30
		下田のロコミュニティセンター	9:30～10:30
		サンシャインボピー駐車場	15:00～17:00
20日(金)	献 血	大方あかつき館	9:00～12:30
	健 康 相 談	旧東部保育所	9:30～10:30
25日(水)	健 康 相 談	浜の宮集会所	10:00～11:00
26日(木)	健 康 相 談	蜷川健康支援センター	10:00～11:00
27日(金)	健 康 相 談	仲分川集会所	10:00～11:00
		伴太郎集会所	14:00～15:00
30日(月)	健 康 相 談	米原集会所	10:00～11:00
12月 日(曜日)	内 容	実施場所	実施時間
2日(水)	3 歳 児 健 診	ふるさと総合センター	※13:00～13:30
3日(木)	子 宮 がん 検 診 (未受診者対象)	大方あかつき館	※10:00～11:00 ※13:30～14:30
		奥湊川老人憩の家	13:30～14:30
4日(金)	健 康 相 談	灘集会所	9:30～10:30
		大方橘川集会所	9:30～10:30
7日(月)	健 康 相 談	早咲集会所	10:00～11:00
	乳 児 健 診	ふるさと総合センター	※13:00～13:30
8日(火)	大 腸 がん 検 診 容 器 配 布 (未受診者対象)	有井川集会所	9:00～ 9:05
		上川口分団屯所前	9:15～ 9:25
		旧東部保育所	9:35～ 9:45
		上田のロ集会所	10:00～10:10
		下田のロコミュニティセンター	10:20～10:30
		田野浦集会所	10:40～10:50
		保健福祉センター	11:10～11:20
9日(水)	健 康 相 談	上田のロ集会所	13:30～14:30
10日(木)	健 康 相 談	上川口浦集会所	9:30～10:30
		浮津集会所	9:30～10:30
		芝集会所	10:00～11:00
11日(金)	大 腸 がん 検 診 容 器 回 収 (未受診者対象)	有井川集会所	9:00まで
		上川口分団屯所前	
		旧東部保育所	
		上田のロ集会所	
		下田のロコミュニティセンター	
		田野浦集会所	
14日(月)	1 歳 6 力 月 児 健 診	保健福祉センター	※13:00～13:30
		ふるさと総合センター	

注) 表中の※印は、受付時間となります。

健康カレンダー

明るく健やかな日々を過ごせますように！

11月中旬から12月中旬までの健康に関する行事予定を表示しています。
行事予定は変更となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

健康福祉課 保健衛生係

【大方総合支所】 ☎43-2836(直通)
【佐賀総合支所】 ☎55-7373(直通)

当直医療機関一覧表

月	日	四 万 十 市	宿 毛 市
11月	8日(第2日曜日)	小原外科胃腸科 ☎35-0108	川村内科クリニック ☎0880-66-2911
	15日(第3日曜日)	四万十市民病院 ☎34-2126	奥谷整形外科 ☎0880-63-1202
	22日(第4日曜日)	大野内科 ☎37-5281	大西内科胃腸科 ☎0880-63-1267
	23日(勤労感謝の日)	山下整形外科 ☎34-0511	清谷医院 ☎0880-63-2302
	29日(第5日曜日)	竹本病院 ☎35-4151	いなげ胃腸科内科 ☎0880-62-1113
12月	6日(第1日曜日)	四万十市民病院 ☎34-2126	大井田病院 ☎0880-63-2101

※当直医は変更になる場合がありますので、あらかじめ確認してから受診してください。

佐賀地域

11月 日(曜日)	内 容	実施場所	実施時間
16日(月)	横浜愛育健康相談	佐賀老人憩の家	9:30~11:00
18日(水)	伊与喜ふれあいサロン	伊与喜集会所	9:30~11:00
	献 血	総合センター	12:45~17:00
19日(木)	献 血	佐賀漁協	9:00~10:30
		みやたエイト佐賀店前	11:00~13:00
26日(木)	漁民センターふれあいサロン	漁民センター	9:30~11:30
12月 日(曜日)	内 容	実施場所	実施時間
3日(木)	佐賀ふれあいサロン	総合センター	10:00~15:00
9日(水)	市野瀬健康相談	市野瀬集会所	13:30~14:30



今年から町外でのウォーキングも始まりました。

目的

① 定期的な運動習慣を身につけて、疾病予防・健康づくりを行う。

② 健康づくりについての意識の向上を図る。

③ 地域の交流のきっかけづくりや、仲間づくり、地域のつながりを深める。

住み慣れた地区で、元気で暮らすための健康づくりと地域づくりを目指しています。

健康知恵袋

「にこにこウォーキング」

黒潮町では、介護予防地域支援事業「にこにこウォーキング」を実施しています。



右:天狗高原セラピーロードに行ってきました!
左:春のお花見ウォーキング(田野浦)の様子です。



場所

大方あかつき館に集合し、入野松原周辺を歩いています。秋には町外ウォーキング、春にはお花見ウォーキングを計画しています(田野浦観音さんに行く予定です)。

実施日

毎週月曜日
午前10時~11時まで

対象者

健康づくり推進委員および町内に在住の方で参加を希望される方

○お問い合わせ
大方総合支所
健康福祉課 保健衛生係
☎ 43-2836(直通)

今後も、ウォーキング事業を通じて健康づくりや地域づくりへつなげていけるよう継続していく予定です。

にこにこウォーキングに興味をお持ちの方は、ぜひ参加をお待ちしています。

	平成19年度	平成20年度
実施回数	44回	41回
延人数	281名	345名

過去の実績



介護保険ガイド

● 介護保険広報シリーズ④ ●

認知症について

認知症は誰にも起こりうるもので、はじめはもの忘れと区別が付きにくい脳の病気です。

85歳以上では4人に1人、現在は169万人にその症状があるといわれており、今後20年で倍増することが予想されています。いつ自分や家族が、あるいは友人や知り合いが認知症になるかわかりません。他人の問題ではなく「自分の問題」とであるという認識をもち、認知症を正しく理解することが大切です。

認知症にはこんなサインがあらわれます ～サインを見逃さないで！～

- 最近の出来事が思い出せない
- 日付や曜日、簡単な計算が分からない
- 物を置き忘れる
- 薬を飲み忘れたり、多く飲んだりする
- 同じ質問を何度もする

◆ 病気として理解し、診断・治療を ～「早期発見・早期治療」を心がける～

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態のことです。

認知症を引き起こす病気のうち、最も多いのは、脳の神経細胞がゆっくりと死んでいく「変性疾患」と呼ばれる病気で、アルツハイマー病、前頭・側頭型認知症、レビー小体症などがあります。

続いて多いのが、脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などによっておこる「脳血管性認知症」です。

適切な治療やケアをすることで症状を軽減したり、進行を遅らせたりできる場合がありますので、かかりつけ医や専門医（もの忘れ外来、老年科、精神科、神経科など）の受診をお勧めします。

◆ 認知症の方の「杖」になる

「認知症の人は何もわからない」は間違いです。認知症かもしれないと悲しんでいるのは本人です。周囲の方が、認知症の方やその家族の気持ちを理解し、できない部分を補う「杖」となれば、自分でやることも増え、おだやかに暮らしていくことができます。偏見という心のバリアをなくし、1人でも多くの「人間杖」を増やしていきましょう。

認知症の方への対応の心得（3つの「ない」）

- 驚かせない
- 急がせない
- 自尊心を傷つけない

具体的な対応の7つのポイント

- まずは見守る
- 余裕をもって対応する
- 声をかけるときは1人で
- 後ろから声をかけない
- 相手に目線を合わせて優しい口調で
- おだやかに、はっきりと話す
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

あなたの周りに「認知症サポーター」

平成17年度から厚生労働省の元で認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのとりくみが行なわれています。

介護従事者だけでなく、各企業・団体そして、住民の方でも受講者は年々増えており、すでに100万人を超えています。（高知県内では平成21年5月31日現在で4,870人。）誰もが認知症についての正しい知識をもち、「尊厳ある暮らし」をみんなで守っていくためにも、黒潮町内でもとりくみをしていきたいと考えています。



認知症サポーターの証「オレンジリング」

< 町内の認知症相談窓口について > ～お気軽にお問い合わせください～

- 黒潮町地域包括支援センター（☎43-2240）
- 介護保険担当係（下記のお問い合わせ先）
- グループホーム優夏（黒潮町入野☎31-3307）
- グループホーム和夏（黒潮町佐賀☎55-3900）

11月11日は「介護の日」～いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう～

○お問い合わせ 大方総合支所 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116(直通)
佐賀総合支所 健康福祉課 保険福祉係 ☎55-3112(直通)

相談

土地・建物のトラブルで
お悩みの方へ
不動産無料相談

(社)高知県宅地建物取引業協会の専任相談員が、苦情の受け付けだけでなく、さまざまな不動産に関する問題について無料で相談をお受けします。

お住まいに関するあらゆるご相談に、誠意を持ってお答えしますので、お気軽にご利用ください。

日時

11月19日(木)

午後1時～午後4時

場所

四万十市立中央公民館

3階研究室

(四万十市右山五月町8-22)

○お問い合わせ

(社)高知県宅地建物取引業協会
幡多支部

☎ 37-1520

日曜遺言等公証法律相談

遺言のほか、相続、金銭・不動産の貸借、離婚に伴う養育料・慰謝料・財産分与、高齢者などの財産管理の相談などをお受けしています。
相談は無料・秘密厳守です。
なのでお気軽にご利用ください。

日時

11月22日(日)

午前9時～午後5時

※事前に予約が必要です。

場所

中村公証役場

四万十市中村大橋通6-3-7

第1とらやビル4階

相談担当者

高知地方事務局所属

中村公証役場公証人

○ご予約・お問い合わせ

中村公証役場

☎ 34-1728

心の健康相談

ひとりで悩んでいませんか？
「人とのつきあいがどうもうまくいかない」「いろんなことを考えてしまつて、よく眠れない」「なにをするにもいやになり、家にとじこもっている日々が続いている」など、心にゆとりがなくなつて、悩んだりしていませんか。
そんな時、お気軽にご相談ください。

日時

11月24日(火)

午後1時30分～午後3時

場所 幡多福祉保健所

相談医 精神科嘱託医

申込期限 11月19日(木)

※出張相談をご希望の方は申し込み時にご相談ください。

※お申し込みが多数の場合は、次回になることもあります。

のでご了承ください。

保健師・相談員による相談は、随時受け付けています。

○お申し込み・お問い合わせ
幡多福祉保健所健康障害課

☎ 34-5124

☎ 35-5979

『認知症』の講演会を開催します

「認知症」について、あなたは正しく理解していますか？
『認知症』は、誰にも起こりうる脳の病気によるもので、日常生活に支障をきたす状態のことをいいます。

「年のせいだから仕方がない」「認知症の人は何もわからない」「何もできない」というふうに思っていませんか。
認知症も他の病気と同じように早い時期に対処することによって症状を軽減したり、悪化をある程度防いだりすることができます。

『地域包括支援センター』では、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守り、誰もが安心して暮らせる黒潮町にするために、地域で支える輪を広げていこうと研修会などに取り組んでいます。

今回は、一人でも多くの方に、『認知症』の方への状況に応じた対応方法や接し方を学んでいただくこと、次のとおり講演会を計画しました。

皆さんの参加をお願いします。

「認知症」講演会

日時/12月11日(金)

午後1時30分～

場所/総合センター

(役場佐賀庁舎前)

※大方地域からは送迎バスも用意します。

講師/中平由起子さん

(とわ家族の会)

演題/『認知症について』(予定)

『地域包括支援センター』

では、認知症の方やその家族が抱える、介護・保健・福祉・医療など各種の心配ごとや悩みごとに関するご相談も受け付けています。

悩まないで『地域包括支援センター』へお気軽にご相談ください。

○お問い合わせ・ご相談

地域包括支援センター

☎ 43-2240(直通)



無料労働相談

解雇や賃金引き下げ、セクハラなど職場でのトラブルに関する相談をお受けします。最寄りの相談窓口までお気軽にご相談ください。

相談窓口

高知労働局総合労働相談コーナー
☎0120-783-722
☎088-885-6027
高知総合労働相談コーナー
☎088-885-6010
四万十総合労働相談コーナー
☎35-3148
高知県労働委員会事務局
☎088-821-4645

最低賃金改正のお知らせ

平成21年10月1日から高知県最低賃金は、

1時間 631円 です。

最低賃金についてのお問い合わせ

高知労働局 賃金室 ☎088-885-6024

四万十労働基準監督署 ☎35-3148

募集

常勤講師(期限附講師)および非常勤講師(時間講師)の募集

職務内容

【常勤講師】公立小・中学校、県立学校の産休・育休・病休などの補充教員として勤務します。

【非常勤講師】小・中学校の教科、高等学校の教科・科目の授業時間だけ勤務します。

雇用期間

【常勤講師】産休・育休・病休などの補充の期間(最長約1年間)

【非常勤講師】最長約1年間、週当たり数時間から十数時間

資格

教員免許状(臨時免許状を含む)を有する方

待遇

公立学校職員の給与に関する条例に準じて支給します。
【常勤講師】大学新卒(22歳)で基本給約20万円、その他通勤手当、期末手当、勤勉手当

など諸手当あり

【非常勤講師】時給約3千円

願書・募集要項の配布場所

高知県教育委員会事務局教育政策課、東部教育事務所・中部教育事務所・西部教育事務所、高知県東京事務所・大阪事務所・名古屋事務所および黒潮町教育委員会事務局

なお、高知県教育委員会事務局教育政策課のホームページ

(<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310101/ke2886.html>)から志願書などの応募書類の様式をダウンロードできます。

応募方法

募集要項の「応募の手続」に従って、志願書、志願者調査表および申告書などを提出してください。

提出期間

平成22年度4月初旬の採用を希望される場合は、10月2日から平成22年3月12日までの間に提出してください。

お問い合わせ・提出先

高知県教育委員会事務局
教育政策課 人事企画担当
☎088-821-4568

貸してもよい空家物件はありませんか

時行っているところですが、まだまだ十分な情報量とはいえない状況です。

黒潮町としても、産業振興や地域活性化の新たな担い手として、移住者への期待は大きく、ぜひわが町へ移住していただき、仕事や地域の活動などに取り組んでほしいと考えています。

そこで、移住について理解していただき、移住してこれらの方々に貸しても良い住居をお持ちの方がおられましたら、黒潮町移住者住宅支援協議会へご連絡いただきますよう、よろしく願います。

物件についての条件は、継続して貸していただけることと、大規模な修繕が必要ではないこと他は、特にありません。また情報につきましては、物件の外見や間取り、賃貸条件を協議会のホームページで紹介させていただきます。

○お申し込み・お問い合わせ
黒潮町移住者住宅支援協議会事務局

本庁総務課企画振興係
☎43-2177(直通)
黒潮町商工会
☎43-1203

高知県では、県産業振興計画の一つである、産業の担い手確保の取り組みとして、移住相談の総合窓口となる「移住コンシェルジュ」を9月より3名配置し、移住希望者の住居や就労支援を中心に対応していくことになりました。

黒潮町では、平成20年度から黒潮町建設労働組合と商工会、役場の3者で「黒潮町移住者住宅支援協議会」を設立し、移住希望者への空家物件の紹介、入居時の修繕などをしてきました。

また協議会では、移住希望者と事前に直接お会いし、面接と聞きとり、地域での暮らしなどを説明し、理解していただいたうえで登録制をとっています。

最近、黒潮町の温暖な気候と豊かな自然、風光明媚なところに魅力を感じての移住を希望される方が、特に多くなってきました。

町内の空家調査を、平成21年3月に、協議会で行いました。そこで上がってきた物件情報を整理し、情報提供を随

統計調査員 登録者を募集します

毎年いろいろな統計調査があり、皆さんのご理解とご協力をいただき、実施しています。

統計調査は、国や県、市町村の施策や経済などに深く関わり、皆さんの生活に大きな影響をもたらします。

来年は、次の2つの、特に重要な統計調査を主に実施します。

- 2010年世界農林業センサス
- 平成22年2月1日実施
- 農林業を営む世帯や団体、企業などが対象

- 平成22年国勢調査
- 平成22年10月1日実施
- 全世帯対象

どちらでも町全域にわたり、対象すべてを調査しますのでとても大がかりで、多くの調査員のご協力が必要となります。つきましては、次の要件に該当し、統計調査員をやってもよいという方がおられましたら、登録をぜひお願いします。

募集要件

- ① 原則として、満20歳以上で、町内にお住まいの方
- ② 調査の実施に関して積極的に理解し、協力していただける方
- ③ 責任を持って調査することができ、完了することができる方
- ④ 調査員として知り得た調査内容を絶対に漏らさない方
- ⑤ 次の方は統計調査員にはなれません
 - 国や県、市町村の税務関係職員
 - 警察官
 - 選挙に直接関係する方（選挙管理委員会職員は含みません。）

統計調査を行うにあたっては、実施日の2カ月ほど前に登録者へ連絡して都合などをお伺いし、承諾をいただいた方を調査員として、県へ推薦します。

調査員は高知県知事より任命され、任期中は非常勤の地方公務員となり、報酬が支払われます。報酬額については調査ごとに異なります。

調査員の仕事

- ① 役場が行う統計調査員対象の説明会に参加し、調査の趣旨や内容、方法について十分理解する。
- ② 担当区内の調査対象についてしっかりと把握し、調査に協力してもらえよう理解を求める。
- ③ 調査対象に調査票を配るとともに、必要に応じて書き方などを説明する。
- ④ 調査票を回収し、指示されたとおり整理して役場へ提出する。
- ⑤ 役場からの確認に対して再調査などをを行い、報告する。

調査実施にあたっては町としても、調査員への適切な説明とフォローアップはもちろんのこと、調査期間も過不足なく設定することや、安全面での対策を万全に整えることで、調査員の負担と不安、損失をできる限り取り除いていきます。

実働日数は統計調査ごとに異なるとはありますが、8程度（1日4時間で計算）となる予定で、調査期間中の都合が良い日を選べます。

募集締め切りはなく、随時

対応させていただきますが、希望の統計調査などありましたら、お早めにお申し込みください。2010年世界農林業センサスについては11月中旬が、県への調査員推薦の締め切りとなります。

また登録については特に申し出のない限り継続していき、各種統計調査ごとに調査員をお願いしていくこととなります。

この機会にぜひ一度、統計調査員として関わり、理解を深めていただきたいと思いますので、皆さんの積極的なお申し込みをお待ちしています。

○お申し込み・お問い合わせ
本庁総務課 企画振興係
☎ 43-2177（直通）



回収します!あなたの家の古い電話帳!



NTT西日本では、地球環境保護・資源の有効活用のため「古い電話帳から新しい電話帳へ」の考えのもと、古い電話帳のリサイクルを積極的に推進しています。

新しい電話帳を各ご家庭に11月中にお届けしますので、その際古い電話帳を配達員へお渡しください。ご不在などで古い電話帳を回収できなかったお客様へは、改めて回収にお伺いいたしますので、下記へご連絡いただきますようお願いいたします。

タウンページセンター ☎ 0120-506-309（営業時間：平日午前9時～午後5時、土曜・日曜・祝日は休業）

狩猟免許試験のご案内

今年度も、農閑期である冬期に狩猟免許試験を実施します。

シカやイノシシなどの鳥獣害にお困りの農林業の皆さまの受験をお待ちしています。

◆試験する免許の種類

●第1種銃猟

装薬銃を使用する猟法

●第2種銃猟

空気銃を使用する猟法

●わな猟

わなを使用する猟法

●網猟

網を使用する猟法

◆試験方法および可否

「試験の内容」

●知識試験

択一式の筆記試験で、知識試験に合格されなかった場合は、適性試験および技能試験の受験はできません。

なお、現在狩猟免許を所持している一部免除者の方が他の種類の狩猟免許試験を受ける場合は、知識試験の一部が免除されます。

●適性試験

視力、聴力および運動能力

●技能試験

狩猟免許の種類に応じた課題により行われます。

「合格発表」

試験終了後、試験会場において発表します。

◆試験の日時

●第1種および第2種銃猟

平成22年1月22日(金)

午前10時30分～

●わな猟および網猟

平成22年1月23日(土)

午前10時30分～

◆場所

高知県ふくし交流プラザ(高知市朝倉戊375-1、県

交通バス朝倉第二小学校前)

◆受験手続

「申請書類など」

●申請書

手数料(高知県収入証紙を申請書に添付し納入してください)

①現在、有効な狩猟免許を所持していない方

5,200円

②現在、有効な狩猟免許を所持している方

3,900円

●写真

●医師の診断書

●住民票または運転免許証の写し

●受験票用のハガキ

※申請書は、高知県文化生活部鳥獣対策課、中村地区猟友会、黒潮町役場担当係に設置しております。

「申請方法」

前記の申請書類などを平成22年1月14日(必着)までに、高知県文化生活部鳥獣対策課へ提出してください。

○お問い合わせ

高知県文化生活部

鳥獣対策課

☎088-823-9039

中村地区猟友会

☎34-2160

黒潮町役場大方総合支所

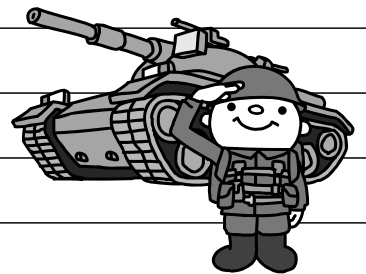
産業振興課農林振興係

☎43-1888(直通)

黒潮町役場佐賀総合支所

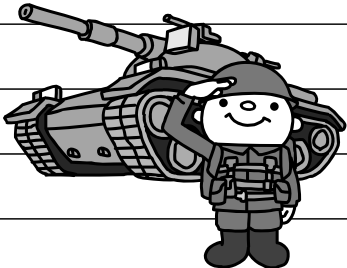
海洋農林課農林土木係

☎55-3115(直通)



自衛官募集(平成22年春入校)

受験科目	陸上自衛隊 高等工科学校生徒	
応募資格	平成22年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子	
試験日	一次試験 平成22年1月23日(土)	
受付期間	平成21年11月1日(日)～平成22年1月8日(金)	
手 当	生徒手当	94,900円
	期末手当	年2回(6月・12月)
衣食住	全員が駐屯地で生活し、宿泊は無料で、食事・制服類・寝具については、支給又は貸与	
休日休暇	週休2日制、祝日、年末年始および夏季休暇、年次休暇	
概 要	将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成するために、中学校卒業生などを対象に採用する制度です。	
お問い合わせ：自衛隊四万十地域事務所 ☎35-3096		



お知らせ

人権擁護委員はあなたの身近な相談パートナーです

人権擁護委員は、住民の皆さんの人権が侵されないように絶えず見守り、もし、人権が侵されたときには法務局と連携して、救済のための適切な措置を取るとともに、人権尊重思想を理解していただくための活動をしています。

黒潮町の人権擁護委員は次の皆さんです。困りごとや悩みごとがありましたらご相談ください。

費用は無料で、相談内容の秘密は守ります。



おおいし まさゆき
大石 正幸
(荷稻)
☎55-7447



やました しかお
山下 鹿男
(市野々川)
☎55-2507



の なみ よしこ
野並 佳子
(下田の口)
☎43-3607



ほり の たかこ
堀野 登子
(入野)
☎43-3437



た なべ たかし
田辺 孝
(奥湊川)
☎43-1688



さわ だ きみよ
澤田 君代
(伊田)
☎44-1998



やまもと さだむ
山本 規
(佐賀)
☎55-2033

○お問い合わせ

大方総合支所
住民課 人権係

☎43-2800 (直通)

佐賀町民館

☎55-2108

○お問い合わせ

佐賀中学校

☎55-2027

佐賀中学校PTA
人権講演会のご案内
ハンセン病について学んでみませんか

日時

11月20日(金)

午後1時30分～午後3時30分

場所 佐賀中学校体育館

演題

「ハンセン病～今私たちにできること～」

講師

金 正美さん

(放送字幕制作ディレクター)

参加対象

どなたでも参加できます

(無料)

講師・金正美さんとハンセン病回復者・桜井哲夫さん(詩人)との交流は、数年前、NHKの「にんげんドキュメント」でも取り上げられ、話題を呼びました。

現在でも続く交流を通して学んだことを、私たちに直接伝えてくださいます。

中村税務署

「税を考える週間」研修会

議題

事業承継と相続税について

日時

11月18日(水)

場所

四万十市中村大橋通6-9-21
ヨンデンプラザ中村ホール

主催 中村税務署

※駐車場に限りがありますので、お車でのご来場はご遠慮ください。

○お問い合わせ

中村税務署総務課

☎35-2135

中小企業を支援する共済制度のお知らせ

小規模企業共済制度

小規模企業共済制度は、個人事業主または会社などの役員の方が事業をやめられたり退職された場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金をあらかじめ準備しておく国が作った共済制度で、いわば「小規模企業の経営者のための退職金制度」といえます。この制度の特徴は、掛金は全額所得控除ということ

です。受け取る共済金も退職所得扱いまたは公的年金などの雑所得扱いになります。

経営セーフティ共済(中小企業倒産防止共済制度)

経営セーフティ共済は、取引先の突然の倒産が原因で、経営悪化の危機に直面してしまったときに資金を借り入れることができる、中小企業を守るために国が作った共済制度です。無担保・無保証人で、積み立て掛金の10倍の範囲内(最高3200万円)被害額相当の共済金が借入れ可能です。毎月の掛け金も税法上、必要経費または損金に算入できます。

各共済制度についてのお問い合わせと加入申し込みは、黒潮町商工会、その他金融機関の本支所の窓口で(小規模企業共済制度については青色申告会でも)取り扱っています。制度の運営は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が行っています。

http://snij.go.jp/kyosai/index.html

○お問い合わせ

黒潮町商工会
☎43-1203

育てよう一人ひとりの人権意識

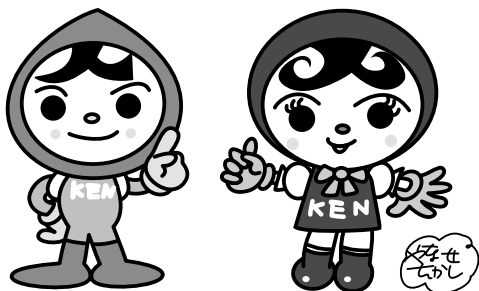
「思いやりの心・かけがえのない命を大切に」

「第61回人権週間」

12月4日(金)～10日(木)

「世界人権宣言」は、基本的人権および自由を遵守し確保するために、世界のすべての人々とすべての国々が達成すべき共通の目標として、1948年(昭和23年)12月10日の第3回国際連合総会において採択されました。

国連は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」(Human Rights Day)と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するように要請しています。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

法務省および全国人権擁護

委員連合会は、従来から関係機関などの協力を得て、「人権デー」を最終日とする一週間(12月4日から10日まで)を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるところにも人権尊重思想の普及高揚に努めています。

町内でも、皆さんが『人権』を考える一助になればと「人権週間」期間を中心に次の行事を計画しています。

ご近所・ご家族でお誘い合わせのうえご来場ください。

◆特設人権相談所開設

高知地方法務局中村支局と中村人権擁護委員協議会による特設人権相談所が開設されます。気軽にご利用ください。

【大方地域】

日時 12月4日(金)
午後1時～午後3時
場所 保健福祉センター
(役場大方庁舎前)

【佐賀地域】

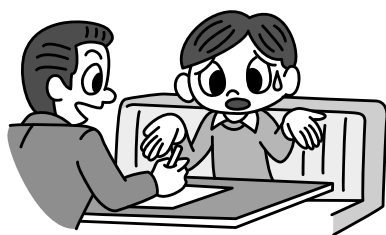
日時 12月4日(金)
午後1時～午後3時
場所 総合センター
(役場佐賀庁舎前)

◆弁護士無料相談所開設

法律問題で悩んでいる方のために、「弁護士無料相談所」を開設します。相談は無料で、秘密は必ず守ります。気軽に相談ください。

なお、この相談は、予約制です。住民課人権係(☎43-2800)に予約をしてください。

日時 12月4日(金)
午後1時～午後3時
場所 保健福祉センター
(役場大方庁舎前)



◆人権作品展

黒潮町教育委員会では、あらゆる差別をなくすための取り組みの一つとして、町内の児童・生徒から人権作品(絵画・ポスター・書道・人権作文・詩)を募集し、「人権週間」期間を中心に、大方あかつき館で作品を展示しています。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

日時 12月4日(金)～15日(火)
午前9時～午後5時
場所 大方あかつき館
町民ギャラリー

◆記念講演

「子育ては親育て」

講師 松田 まつだ ともえ 朋恵さん

日時 12月15日(火)
受付 午後7時
講演 午後7時30分
場所 大方あかつき館
レクチャーホール



まつだ ともえ
講師 松田 朋恵さん

◆人権映画上映会

大方図書館が人権映画を上映します。

日時 12月6日(日)
場所 大方あかつき館
レクチャーホール

- ①「西の魔女が死んだ」
午前10時～正午
- ②「アンネの日記」(アニメ)
午後2時～3時40分

○お問い合わせ

大方総合支所
住民課人権係
☎43-2800(直通)
教育委員会
佐賀生涯人権教育係
☎55-3190(直通)
大方町民館
☎43-1204
佐賀町民館
☎55-2108
大方児童館
☎43-3622



国 事 業

耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(1)再生利用活動

(貸借などにより耕作放棄地を再生・利用する取り組み)

- ①再生作業(障害物除去、深耕、整地など) ※ 1
 ア 荒廃の程度に応じ3または5万円/10a
 イ 荒廃の程度が大きく重機などを用いて行う
 再生作業【補助率1/2】

②土壌改良

- 2.5万円/10a(最大2年間)

③営農定着

- 2.5万円/10a(1年間)

④就農研修【定額補助】

- 農業法人等実践研修、IJUターン等就農研修

⑤経営展開【定額補助】

- 経営相談・指導、実証ほ場、マーケットリサーチ、
加工品試作、試験販売 など

(2)施設等補完整備【補助率1/2等】

- ①基盤整備(農業用排水施設、農道、暗渠排水、
区画整理、客土、農用地保全)
 ②鳥獣被害防止施設
 ③処理加工施設 など

(※1) 賃借権・使用貸借権の設定・移転、所有権移転、農作業受委託などによって耕作する者を確保、またはその見通しを持って行う農地の再生作業を支援します。

県 事 業

耕作放棄地解消推進事業

(1)再生利用活動

左の①再生作業(障害物除去、深耕、整地など)
 に取り組む場合

担い手要件※2に該当する場合

- 国補助金を差し引いた残額を補助

担い手要件に該当しない場合

- 国庫補助を差し引いた残額の1/2を補助

本気で実行！
高知県産業振興計画

(2)施設等補完整備

(1)の再生利用活動と併せて実施)

左の①基盤整備のうち、農用地保全の取り組み
 中で「老朽ハウスの撤去」を行う場合、
 担い手要件(※2)に該当する場合

- 国庫補助金を差し引いた残額を補助

担い手要件に該当しない場合

- 国庫補助を差し引いた残額の1/2を補助

(※2) 解消に取り組む主体が、認定農業者・認定就農者・集落営農組織などであること。

(例えば)

認定農業者が荒廃農地10aを借り入れて
 老朽ハウスの撤去と整地等した後に営農したい

- ①再生作業の経費 20万円
 ②老朽ハウス撤去の経費 36万円

計 56万円が必要となる場合

(国交付金)

- ①定額補助 5万円 差引残額15万円
 ②1/2補助 18万円 差引残額18万円

(県補助金)

計 56万円補助**自己負担無しで取り組むことができます**

主な要件

1. 解消しようとする農地が**農用地区域内かつ農業委員会が耕作放棄地として認めた農地**であること。
2. 原則、**自作地は当事業の該当**となりません(一部例外がありますのでお問い合わせください)。
3. 利用権の設定を行うこと。

【お問い合わせ】

佐賀総合支所海洋農林課 ☎55-3115(直通)
 大方総合支所産業振興課 ☎43-1888(直通)
 黒潮町農業委員会 ☎43-1888

移住してこられた方の座談会を開催します

高知県では、移住希望者の住居や、第一次産業を主とした就労支援の相談窓口となる「移住コンシェルジュ（総合案内人）」を3名、9月より配置し、県内各地を精力的に回っています。

10月13日には、県地域づくり支援課とともに黒潮町へ訪れ、役場担当係・黒潮町移住者住宅支援協議会・黒潮町雇用促進協議会とともに、取り組み状況や情報などの共有を行い、今後の移住促進のための連携を確認しました。

その協議の中で、移住コンシェルジュから、黒潮町に移住してこられた方のお話を伺いたいとの話がありました。

移住者住宅支援協議会と雇用促進協議会にとっても、今後の取り組み強化のため、ぜひお話を伺いたいと思います。

また、移住してこられた方々のグループができればという話もあります。

日時と場所については、まだ決めていませんが、参加いただける方々と調整させてい

ただきたいと思っています。

場所は黒潮町内、日程的には11月下旬で、午後4時から座談会、終了後会場を移し、懇親会を行います。座談会のみ、懇親会のみ参加もかまいません。

参加資格は特になく、黒潮町へ移住してこられている方なら大歓迎です。

多くの方々のご参加をお待ちしています。



○お申し込み・お問い合わせ
黒潮町移住者住宅支援協議会事務局

本庁総務課企画振興係
☎ 43-2177（直通）

黒潮町商工会

☎ 43-1203

黒潮町雇用促進協議会

☎ 43-3306

図書館カレンダー

（○の日は休館日です。）

大方図書館



11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	②	③	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑬	17	18	19	20	21
22	⑮	⑮	25	26	⑳	28
29	⑳					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	⑦	8	9	10	11	12

佐賀図書館

11月						
日	月	火	水	木	金	土
①	2	③	4	5	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
⑳	㉓	24	25	26	㉗	28
㉙	30					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12

文学館からのお知らせ

上林暁文学館では、第10回企画展として「トンネルの娘」の生原稿を展示しています。

暁の生原稿に接するとともに、ふるさとへの熱い想いを感じとってください。多くの方々のご来館をお待ちしています。

8・9月貸出ベストランキング

※（カッコ）内は所蔵館

1. 廃墟に乞う
2. 同期
3. 運命の人 4 罪深き海辺
5. 学問
6. 植物図鑑
7. 1 Q 8 4 BOOK 1 運命の人 2 運命の人 1
10. 1 Q 8 4 BOOK 2 運命の人 3

- 佐々木 譲／著（大方・佐賀）
今野 敏／著（大方・佐賀）
山崎 豊子／著（大方・佐賀）
大沢 在昌／著（大方・佐賀）
山田 詠美／著（大方・佐賀）
有川 浩／著（大方・佐賀）
村上 春樹／著（大方・佐賀）
山崎 豊子／著（大方・佐賀）
山崎 豊子／著（大方・佐賀）
村上 春樹／著（大方・佐賀）
山崎 豊子／著（大方・佐賀）

◆開館時間 （大方図書館）

火／金
午前10時～午後6時
土・日
午前10時～午後5時
（佐賀図書館）
月／金
午前10時～午後6時
土
午前10時～午後5時

◆貸出冊数・期間

本
一人5冊・2週間
雑誌
一人3冊・2週間
ビデオ・CD・DVD
一人2点・1週間

※新しい本の中には、貸出開始日から2カ月間は1週間の貸出期間となる場合があります。

★貸出し・返却・図書カードの発行は受付で行っています。

返却するとき

- ・佐賀・大方どちらの図書館でも返却ができます。
- ・休館日に返却する時は各図書館にあるブックポストに入れてください。
- ・ビデオ・CD・DVDはできるだけ開館時の受付窓口へ返却してください。

◆お問い合わせ

大方図書館
☎ 43-0120
佐賀図書館
☎ 55-3190
<http://atazaki-town.kurashio.jp>

地域子育て支援センター通信



秋も深まり野山も色づき始めました。各保育所の運動会も終わり、子どもたちは楽しんで過ごしましょう。

支援センターでは、さわやかな季節の中、園庭で遊んだりふれ合い遊びをしたり、保護者どうし子どもどうしの交流をしたいと思っています。

お気軽にご参加ください。お待ちしております。

11月の予定

◆お出かけ広場

- 午前9時30分～午前11時30分
- 11月17日(火)作って遊ぼう
- 場所／横浜保育所乳児室

◆いっしょに遊ぼう

- 午前9時30分～午前11時30分
- 11月4日(水)園庭で遊ぼう
- 場所／大方中央保育所園庭
- 11月11日(水)ふれ合い遊び
- 11月18日(水)作って遊ぼう
- 11月25日(水)ふれ合い遊び
- 場所／子育て支援センター

○お問い合わせ

地域子育て支援センター
(大方中央保育所内)
☎43-0512

総務省

地上デジタル放送を見るための簡易チューナー無償給付などの支援について

支援の対象となる方

「日本放送協会（NHK）の受信料の全額免除を受けている世帯」が対象です。

具体的には、生活保護世帯、障がい者のいる世帯などであって、世帯全員が市町村民税非課税の世帯、社会福祉事業施設入所者などです。

※すでに、地上デジタル放送を視聴されている世帯は支援の対象外です。

受けられる支援の内容

現在お使いのアナログテレビ用に「簡易チューナー」の給付と取り付け、操作説明を無償で行います。

アンテナ改修などが必要な場合にはその支援も行います。

お申込み先

〒359-8780
埼玉県所沢市並木1-4
総務省地デジチューナー支援実施センター

申し込み期限

平成21年度分については12月28日(月)〈消印有効〉までとなります。

【注意】

支援の申し込みには、NHKと受信契約を結び、全額免除の適用を受けることが必要です。なるべく早めに契約手続などをお願いします。また、支援は現物給付です。ご自身で購入したチューナー、アンテナなどの費用を精算することはできません。

○お問い合わせ

【地デジ受信の支援内容や支援申し込みなどについて】

総務省地デジチューナー支援実施センター
☎0570-033-840

【NHKの放送受信契約や免除について】

NHK視聴者コールセンター
☎0570-000-588

【NHK放送受信料免除の手続きなどについて】

大方総合支所
健康福祉課 福祉係
☎43-2116(直通)
佐賀総合支所
健康福祉課 保険福祉係
☎55-3112(直通)

水道給水工事指定店 当番一覧表

月	日 自 至					
11	2～8	吉本水道	河野電機設備	(株)土居建設	谷口水道	
	9～15	大方設備センター	拳ノ川住設	(有)西部総建		
	16～22	(株)中村住設大方営業所	道倉水道	山本建設(株)	(有)森田建設	
	23～29	前田電工	平野住設	(有)弘瀬建設		
	30	吉本水道	河野電機設備	(株)土居建設	谷口水道	
12	1～6	吉本水道	河野電機設備	(株)土居建設	谷口水道	
	7～13	大方設備センター	拳ノ川住設	(有)西部総建		
	14～20	(株)中村住設大方営業所	道倉水道	山本建設(株)	(有)森田建設	
	21～27	前田電工	平野住設	(有)弘瀬建設		

当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応いたします。

店名	電話番号		住所	店名	電話番号		住所
	事務所	自宅			事務所	自宅	
大方設備センター	43-1420	43-1483	入野769	拳ノ川住設	55-7371	55-7114	拳ノ川1781
河野電機設備	43-1022		入野2878	(有)西部総建	55-2825		伊与喜38-2
(株)中村住設大方営業所	43-0211	43-2061	出口372-2	谷口水道	55-2316		佐賀2773
平野住設	44-1513	44-1117	伊田2100	(株)土居建設	55-2133	55-2363	伊与喜43-5
前田電工	43-1149	43-1546	入野1574	(有)弘瀬建設	55-2121		佐賀1990
道倉水道	43-2096		浮鞭3558-8	(有)森田建設	55-3621	55-2420	藤縄5-1
吉本水道	43-2024		入野544-4	山本建設(株)	55-3141	55-2076	佐賀2988

○お問い合わせ／大方総合支所 まちづくり課 水道係 ☎43-2114(直通) 佐賀総合支所 まちづくり課 水道環境係 ☎55-3700(直通)



岩本 こころちゃん

〈平成18年8月2日生まれ〉

お手伝いしてくれてありがとう。



徳弘 琴音ちゃん

〈平成17年12月16日生まれ〉

元気にいい子で育ってね。



森田 彩音ちゃん

〈平成18年6月5日生まれ〉

元気に育ってね。



松本 志己くん

〈平成18年7月12日生まれ〉

姉弟仲良くしてネ。



荒井 郁柔くん

〈平成21年3月26日生まれ〉

兄妹と仲良く!!幸せな人生に突き進んでネ。



小室 拓海くん

〈平成21年1月1日生まれ〉

2人のお姉ちゃんと仲良く元気に大きくなってね。



山本 一貴くん

〈平成18年7月29日生まれ〉

やさしくたくましい男子に育ってください。

このコーナーでは、町内在住の子どもたちを、お家の方からのメッセージといっしょに紹介しています。

くろしおっ子を紹介します!



平成22年成人式の新成人代表者募集

平成22年「黒潮町成人式」の新成人代表者を募集します。
20歳の記念にしたいと思いますので、我こそは!と思う方の応募をお待ちしています。
なお、応募者多数の場合は、教育委員会にて抽選とさせていただきます。

- ◆対象者 平成元年4月2日～平成2年4月1日生まれの方
(町内に住所を有する方、大方中学校・佐賀中学校卒業生)
- ◆募集人数 3名(誓詞、記念品授与、花束贈呈 各1名)
- ◆応募メ切 11月30日(月)
- ◆応募方法 電話・fax・メール可



黒潮町成人式 日時／平成22年1月3日(日) 12:30～受付、13:30～式典
場所／ふるさと総合センター(黒潮町入野)大ホール

○お問合せ・応募先／教育委員会 大方生涯学習係 ☎43-2110 FAX43-0222
佐賀生涯人権教育係 ☎55-3190 FAX31-4010
e-mail:kyoiku@town.kuroshio.lg.jp

深まりゆく秋。コタツとのごく自然な再会。そのあたたかな友人は誰をも魅了し、悠久の時空へと誘う。そして...
大げさな書き出しで始まったが、なんのことはない。要はコタツを出さうか。朝晩はだるだるで、まだ暖かい日が続く。まだだ。出してもまだ万全の活躍は期待できそうにもない。
そんな想いが、昨今の公共交通機関の状況と重なる。住民の夢と期待を背負って走り始めたが、近年は利用客の減少が著しいとのこと。便数が減ったり運賃が値上げされたりで、さらに利用客が減少するといった悪循環。さらに追い打ちをかける、高速道路無料化とエコカー減税。本気でCO2削減を考えているとは思えない。公共交通機関の復権こそが切り札になるのではと考える。
老若男女がワイワイと乗っていた時代。そこには確かにあたたかさがあふれていた。そんなことを回想し、コタツを出す決心がついた。

(ね)

編集子

